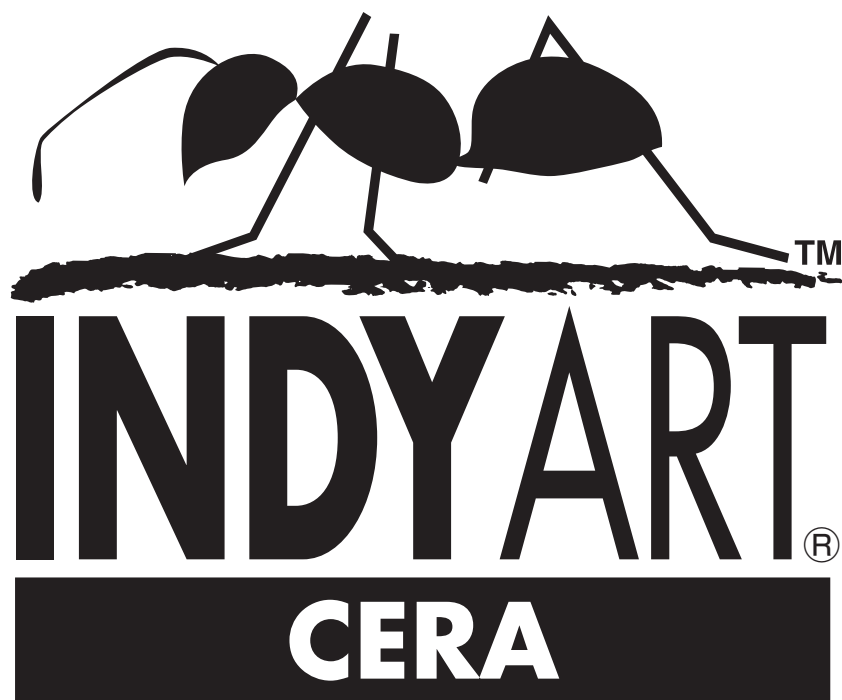
ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

セラミック・シリコン系意匠塗材

施工要領書

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。
特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

セラミック・シリコン系意匠塗材

施工要領書

特　長

1. 意　匠　性　幅広い意匠の演出が可能です。
2. 耐　久　性　水性反応硬化形樹脂を採用し、すぐれた耐久性があります。
3. 微　弾　性　ヘアークラックに追従し雨水の侵入を防ぎます。
4. 防藻性・防かび性　藻・カビの発生を防ぎます。
5. 透　湿　性　水蒸気透湿性にすぐれており、結露から建物をまもります。
6. 防　火　性　内装にて防火性がご必要の箇所には、国土交通省認定防火材料※もご用意しております。
(認定番号NM-8572・QM-9812・RM-9361／内装薄付仕上げ)
※模様が限定されますのでご注意願います。詳しくは最寄りの当社営業までお問い合わせください。

適用下地

コンクリート、モルタル、ALC、窯業サイディングボード、各種旧塗膜（活膜）など

荷　姿

ウルトラシーラーⅢ（透明・ホワイト）　15kg
インディアートセラ　各色　16kg

各種模様と骨材種類／施工道具

	模様名	注)骨材種類(骨材量)	施工道具(推奨)
ROUGH ラフ	ラフ	寒水石2厘(5kg)	先付け仕上げごて
	ウェーブ	－	角ごて
	ラフグリッド	－	角ごてor先付け仕上げごて
	ラウンドラフ	寒水石1厘(5kg)	丸ごてor先付け仕上げごて
	ラフ(color mix)	寒水石2厘(5kg)	先付け仕上げごて
	ウェーブ(color mix)	－	角ごて
	ラフグリッド(color mix)	－	角ごてor先付け仕上げごて
	ラウンドラフ(color mix)	寒水石１厘(5kg)	丸ごてor先付け仕上げごて
	ブラシカーブ	－	砂骨ローラーor丸ごて＋左官ホーキ
LINE ライン	くし目ローラープレス	寒水石３厘(16kg)	スタッコガン＋クシ目ローラー
	ウールライン	－	ウールローラー
	ローラーライン	－	砂骨ローラー＋ラインローラー
	ローラーレリーフ	寒水石1厘(3kg)	砂骨ローラー＋レリーフローラー
	ブラシライン	寒水石2厘(3kg)	砂骨ローラー＋左官ホーキ
	スポンジライン	寒水石1厘(5kg)	砂骨ローラー(細目)orこて＋スポンジ
	チップライン	寒水石1厘(5kg)	先付け仕上げごて
	コームライン	－	角ごてor砂骨ローラー(細目)＋クシベラ(細目)
	ラージコームライン	寒水石2厘(11kg)	角ごて＋クシベラ(太目)orクシ目ごて

注)骨材の量は、インディアートCERA(16kg)に対する量です。
注)骨材を入れない模様においてもつや、質感を変えるために寒水石１厘を入れる場合があります。
注)寒水石は供給元によって仕上り感が異なりますので、試験塗装で事前に仕上りをご確認ください。

	模様名	注)骨材種類(骨材量)	施工道具(推奨)
FLAT フラット	ジュラク風	寒水石1厘(8kg)	ジュラクガン
	砂壁状	寒水石3厘(8kg) 寒水石5厘(8kg)	リシンガン
	スタッコプレス	寒水石3厘(8kg) 寒水石5厘(8kg)	万能ガンorスタッコガン＋角ごてor丸ごて
	フラット(color mix)	寒水石1厘(5kg)	角ごてor丸ごて
	フラット仕上げ	寒水石1厘(5kg)	角ごてor丸ごて
	フラット(内装薄付仕上げ)	寒水石1厘(16kg)	ジュラクガン
	ラギットフラット	寒水石3厘(8kg)	角ごてor丸ごて
	サンドストーム	寒水石2厘(8kg) 寒水石5厘(5kg)	万能ガン 丸ごて＋木ごて
CLOD クラッド	吹付タイル	寒水石1厘(3kg)	タイルガン
	吹付タイルヘッド押さえ	寒水石1厘(3kg)	タイルガン＋ヘッド押さえローラー
	模様ローラーヘッド押さえ	－	砂骨ローラー＋ランダム模様ローラー＋ヘッド押さえローラー
	吹付スタッコ	寒水石3厘(8kg) 寒水石5厘(8kg)	スタッコガンor万能ガン
	吹付スタッコヘッド押さえ	吹付スタッコと同じ	スタッコガン＋ヘッド押さえローラー
	なみがた模様	－	砂骨ローラー
	なみがた模様ヘッド押さえ	寒水石1厘(3kg)	砂骨ローラー＋ヘッド押さえローラー

注)骨材量は目安です。若干増減する場合があります。
注)各種仕上げ塗りは標準的な施工を考えて記載されています。上記以外の施工道具でも同じ仕上げが出来る場合があります。

ラ　フ

ラフ

ウェーブ

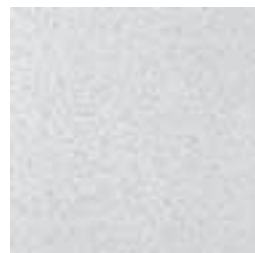
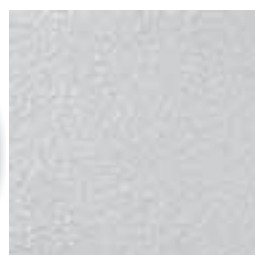
ラフグリッド

ラウンドラフ

32種類のパターンが自由な表現を可能にします。

フ ラ ッ ト

ジュラク風

砂壁状

ク ラ ッ ド

吹付タイル

吹付タイルヘッド押さえ

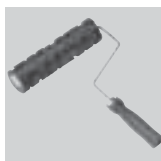
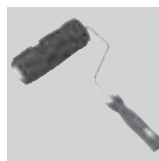
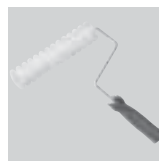
ラ イ ン

くし目ローラープレス

ウールライン

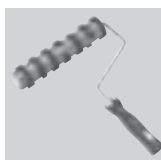
ローラーライン

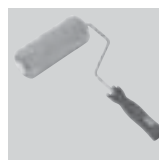
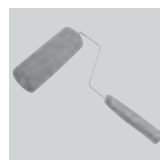
ローラーレリーフ

使用器具

ラインローラー

ランダム模様ローラー

クシ目ローラー

ヘッド押さえローラー

ジュラクガン

リシンガン

レリーフローラー

ウールローラー

砂骨ローラー

砂骨ローラー（細目）

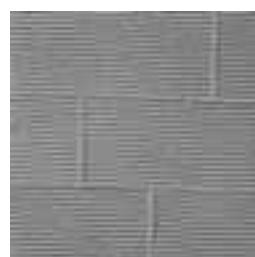
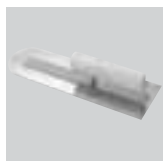
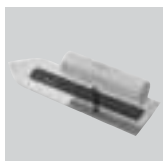
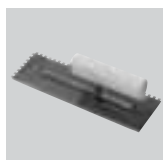
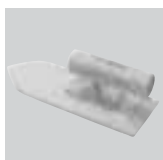
スタッコガン

タイルガン

ラフ color mix　ウェーブ color mix　ラフグリッド color mix　ラウンド color mix　ブラシカーブ

スタッコプレス　フラット color mix　フラット　ラギットフラット　サンドストーム

模様ローラーヘッド押さえ　吹付スタッコ　吹付スタッコヘッド押さえ　なみがた模様　なみがた模様ヘッド押さえ

ブラシライン　スポンジライン　チップライン　コームライン　ラージコームライン

写真は印刷のため、実物と多少異なります。

塗装の準備

Ⅰ下地調整について

1.素地の乾燥は十分に行ってください。（含水率10%以下、pH9以下）

2.素地に巣穴・段差などがある場合、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー・ニッペフィラー200）などで処理してください。

3.下地の種類によっては、下地処理の材料と方法が異なりますので、下記の表を参考にして適切な下地処理を行ってください。

4.劣化塗膜、密着不良、浮き塗膜の除去……ケレン工事
旧塗膜の浮き、密着不良、剥離周辺部のぜい弱部を皮すき、ワイヤーブラシ、ケレン棒などのケレン工具で除去します。

5.油類の付着汚れの除去……清掃工事
シンナー、中性洗剤等で溶かし、皮すき、ワイヤーブラシなどのケレン工具を併用し除去します。

6.塗膜表面の粉化物、ホコリの除去……水洗工事
高圧洗浄機で高圧水洗（100～150kgf/cm^2、20L/分、距離20～30cm、垂直に当てる）を行い、ケレンによるホコリ、粉化物、汚れを洗い落とします。水洗後は塗装まで１日以上乾燥させます。なお、低層階に洗い落としたホコリ、粉化物が付着していないか確認を行い、付着している場合は再度水洗いします。

7.水洗いできない個所のホコリの除去……清掃工事
ホウキ、ブラシ、ウエスを用いて付着しているホコリなどを除去、清掃します。場合によっては圧縮空気噴射（エアーブロー）を行います。

下地の種類		下塗り１	備考
新設	RC PC モルタル 窯業サイディングボード	ニッペウルトラシーラーⅢ	表面のアルカリを抑え、付着性向上のため下塗り１回目にシーラーを使用してください。外部で素材の強アルカリ性が予想される場合や、下地の強度が著しく低い場合には、ニッペ浸透性シーラー(新)を使用してください。
新設	ALC	ニッペセメントフィラー （ニッペフィラー200） ＋ ニッペウルトラシーラーⅢ	基材強度が低く、表面が粗いので樹脂入りセメント系下地調整材で処理をしてから塗装してください。著しく動きのあるジョイント部は化粧目地として露出させてください。(目地部を充填した上に施工すると亀裂の入るおそれがあります)
塗り替え旧塗膜	リシン 単層弾性 吹付けタイル 弾性タイル 有機スタッコ　注１）	ニッペウルトラシーラーⅢ (ニッペ一液浸透シーラー ニッペ浸透性シーラー(新) AC透明シーラー)	活膜は残すが、ふくれたり、割れたり、浮いている塗膜は入念に除去してください。ほこり、汚れを除去し、清掃してください。旧塗膜の劣化が著しい吸込み面へは、下塗りに溶剤系シーラーをご使用ください。
塗り替え旧塗膜	モルタルかき落し セメントリシン	ニッペ一液浸透シーラー (ニッペ浸透性シーラー(新))	下地がぜい弱なため、左記のシーラーを使用してください。
	コンクリートブロック （塀など）	ニッペ一液浸透シーラー (ニッペ浸透性シーラー(新)) ニッペセメントフィラー （ニッペフィラー200） ＋ ニッペウルトラシーラーⅢ	ALCと同程度、表面が粗い場合は、全面をニッペセメントフィラー(ニッペフィラー200)で処理してください。コンクリートブロック塀の目地を埋める場合は、ニッペセメントフィラー(ニッペフィラー200)で処理してください。

※水のたまりやすい水平部(笠木、手すり、セットバックなど)や、直接地面と接するところや土止め壁などの施工はふくれ、割れのおそれがありますので、避けてください。ブロック塀などに施工する場合は、幅木(5cm程度の水の逃げ道)をとってください。天端は防水処理や笠木を取り付けるようにしてください。
※窯業サイディングボードの突合せ部などは動きが大きい場合があります。
注１）セメントスタッコは凹凸が激しいため適応できません。
注２）経時でひび割れ発生の可能性がありますので、突合せ部分などへの塗装は避けてください。

Ⅱ下地補修について

１.ひび割れの補修方法

コンクリートやモルタルは収縮することで、ひび割れを生じます。
特に開口部周辺にこのひび割れが多く見られます。
ひび割れの幅が0.2mm以上は、空気や水の出入りが可能になるといわれ、ひび割れ周辺のコンクリートやモルタルの中性化をうながすことになり、ひいては躯体劣化を早める原因となります。
細かいひび割れは、塗り替え塗料でカバーすることができますが、幅の大きなものはあらかじめ補修しておく必要があります。

①ひび割れの幅が0.5mm未満の場合
樹脂モルタルやセメントフィラーでひび割れを埋める。
②ひび割れの幅が0.5mm以上の場合
⑴コンクリートやモルタルに発生したひび割れをクラックスケールで測定し、ひび割れの幅および長さを調査します。
⑵ひび割れ補修箇所をラッカースプレーでマーキングし、場所、長さを図面に明示します。
⑶ひび割れ部は電動カッターでクラック幅を中心にUカット処理（幅10mm、深さ10mm）を行い構内を清掃します。
⑷シーリング用プライマーを塗装した後、シーリング材を充填します。
⑸硬化乾燥後その段差をビルガードカチオンフィラーＪまたはセメントフィラーで面調整を行います。

２.下地モルタルの浮き補修方法

RCモルタル仕上げの建物は、年月を経ますとRCとモルタルの間で肌分れが発生します。これは壁面を金づちなどでたたきますと、モルタルの浮いている箇所は、ポコポコと軽い反響音がするので、すぐに発見することができます。このような状態のまま放置しますと、建物が傷むばかりかモルタルがはがれ落ち、思わぬ事故につながったりします。

①コンクリートとの接着不良（肌分れ）を生じたモルタル施工箇所を打検ハンマーで調査します。
②著しいモルタル浮き箇所をラッカースプレーでマーキングし、場所、面積を図面に明示します。
③浮き箇所を電動ドリル（φ5mm）でm^2当り9～16穴を目安（20～30cmピッチ）とし、コンクリートに達するまで注入孔をあけます。
④モルタル接着注入用エポキシ樹脂を注入し、コンクリートと接着処理を行います。
⑤注入孔は、エポキシ樹脂が流れ出ないようウエスを詰めエポキシ樹脂硬化後、ウエスを抜き取りセメントフィラーを充填します。なお、ステンレスピンを接着穴に挿入することにより強度を増す工法も多くみられます。

３.露出鉄筋の補修方法

大庇軒裏、ベランダ天井、一般外壁などに鉄筋からのさび汁が流れていたり、モルタルやコンクリートがはく離して鉄筋がさびで露出していたりします。これは鉄筋の上のモルタルやコンクリートの厚みが薄いため、躯体に発生したひび割れから水や空気が侵入し、鉄筋がさびて体積が膨張しそのためにモルタルやコンクリートを押し上げ、浮きやはく離が発生するわけです。

①コンクリート内部からさび汁が流れていたり、鉄筋が腐食、膨張し、コンクリートが浮いている箇所および既にはがれて鉄筋が露出している箇所を打検ハンマーで調査します。
②補修箇所をラッカースプレーでマーキングし、場所、面積を図面に明示します。
③補修箇所をハンマー等でハツり落し、鉄筋を露出させワイヤーブラシ等でさび落しを行い清掃します。
④コンクリートへは、ビルガード浸透剤を刷毛で塗装し、鉄筋部分へは、ビルガードカチオンフィラーをラスター刷毛で塗装（0.20～0.25kg/m^2）し防錆処理を行います。
⑤欠損部への埋め戻しは、ビルガードカチオンケイモル（カチオン性アクリルポリマーセメントモルタル）をこてで塗付します。
⑥補修跡の下地調整は、ビルガードカチオンフィラーをローラー塗装し面調整を行います。

４.モルタル・コンクリートの欠け、欠落の補修方法

モルタル・コンクリートの欠け、欠落は、鉄筋が露出したことによるもの以外に笠木、ベランダ見付、軒天などのモルタル・コンクリート間の接着不良によるものであります。いずれもそのまま放置しますと、躯体の劣化が進むだけでなく、欠け、欠落部が広がり危険をともないます。

①コンクリートとモルタルとの接着不良、モルタルのひび割れ、浮きによって剥落した箇所および剥落しそうな箇所を打検ハンマーで調査します。
②補修箇所をラッカースプレーでマーキングし、場所や面積を図面に明示します。
③剥落しそうな箇所は、ハンマー、ケレン工具等ではがし粉化物を除去清掃します。
④ビルガード浸透剤（シラン系浸透形強力剤）を刷毛で塗装後、ビルガードカチオンケイモル（カチオン性アクリルポリマーセメントモルタル）で修復します。

共通仕様（下塗り、基層塗り）

工程		塗料名	塗り回数	使用量（kg/m²/回）	希釈剤	希釈率（%）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	塗装方法
下地調整		下地調整仕様による						
素地調整		ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する						
Ⅰ	下塗り	ウルトラシーラーⅢ	1	0.10～0.16	水道水	透明 －	3時間以上	エアレススプレー･はけ ウールローラー
						ホワイト 10～30		
Ⅱ	基層塗り	インディアートCERA	1	0.8～1.0	水道水	5～10	3時間以上	吹付け （タイルガン、リシンガン）
				0.6～1.0		0～10		砂骨ローラー（細目） こて

下地
共通下地仕様による

Ⅰ下塗り

- ●ウルトラシーラーⅢホワイト15kgに対し、水道水を10～30%の範囲で加え、十分撹拌してください。（ウルトラシーラーⅢ透明は無希釈）
- ●はけ・ウールローラー又は、エアレススプレーガンを用いて、塗装してください。
- ●下塗り材塗付後、基層塗りまでのインターバルは３時間以上あけてください。

Ⅱ基層塗り

- ●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～10%の範囲で加え、十分に撹拌してください。
- ●吹付け（タイルガン・リシンガンなど）又はローラー（砂骨ローラー（細目））こて（角ごてなど）にて、平滑になるように塗装してください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ラフ仕上げ

①	②	③
下地調整5頁を御参照ください	下塗共通施工仕様7頁を御参照ください	模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ラフ	インディアートCERA	100	1	1.5～2.0	水道水	0～3	先付け仕上げごて
	寒水石2厘	30					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

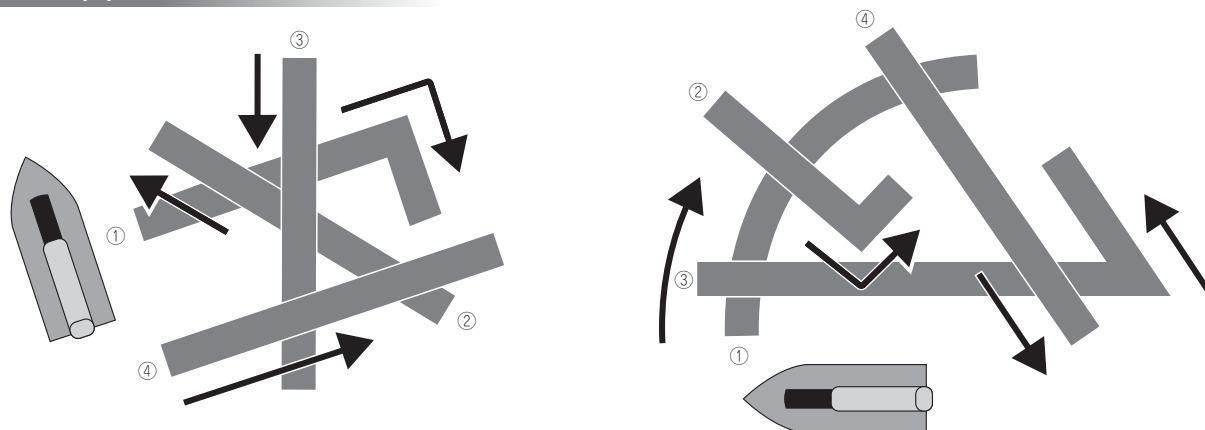
●インディアートCERA16kgに対し、水道水を０～３%の範囲で加え、寒水石２厘を５kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●こてで、直接塗付量ができるだけ均一になるように、パターン付けをしてください。

●こての大きさや形状によって、パターンは多少異なります。

●何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ウェーブ仕上げ

使用骨材	
ー	
1缶あたり	ー　kg

（質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。）

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合（重量比）	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ウェーブ	インディアートCERA	ー	1	1.5～2.0	水道水	0～3	角ごて

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●角ごてを用いて、全体に均一にむらなく塗付し、使用量は1.5～2.0kg/m^2としてください。

■模様付け

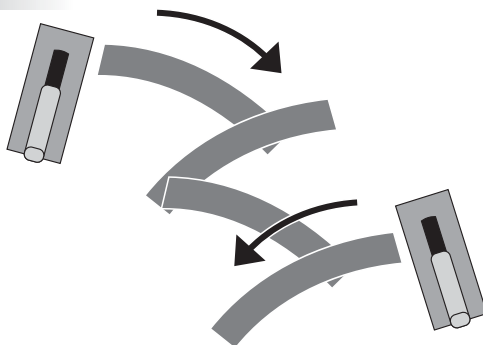
●主材塗付後追いかけで、角ごてを用いて、軽く半円を描くようなこてすじを付けるように、パターン付けを行ってください。

●こての大きさや形状によって、パターンは多少異なります。

●何度もパターンの手直しをすると塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ラフグリッド仕上げ

（質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。）

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ラフグリッド	インディアートCERA	―	1	1.5～2.0	水道水	0～3	角ごてor 先付け仕上げごて

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●角ごてを用いて、全体に均一にむらなく塗付し、使用量は1.5～2.0kg/m^{2}としてください。

■こて処理

●主材塗付後追いかけで、角ごてまたは先付け仕上げごてを用いて、均一に押し付けるように、パターン付けを行ってください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。

●こての大きさや形状によって、パターンが多少異なります。

●何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

ラウンドラフ仕上げ

使用骨材	
寒水石1厘	
1缶あたり	約　5　kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ラウンドラフ	インディアートCERA	100	1	1.5～2.0	水道水	0～5	丸ごてor 先付け仕上げごて
	寒水石1厘	30					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～5%の範囲で加え、寒水石１厘を約5kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●先付け仕上げごて又は丸ごてを用いて、全体に均一にむらなく塗付し、使用量は1.5～2.0kg/m^{2}としてください。

■こて処理

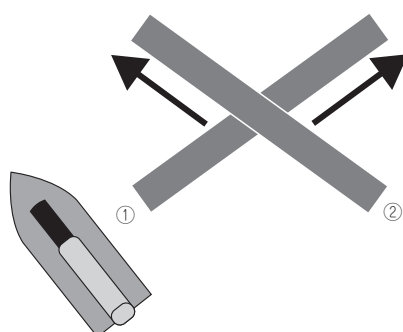
●主材塗付後追いかけで、先付け仕上げごてを用いて、パターン付けを行ってください。

●こての大きさや形状によって、パターンは多少異なります。

●何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

ラフ color mix仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ラフ(color mix)	インディアートCERA	100	1	1.5～2.0	水道水	0～5	先付け仕上げごて
	寒水石2厘	30					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

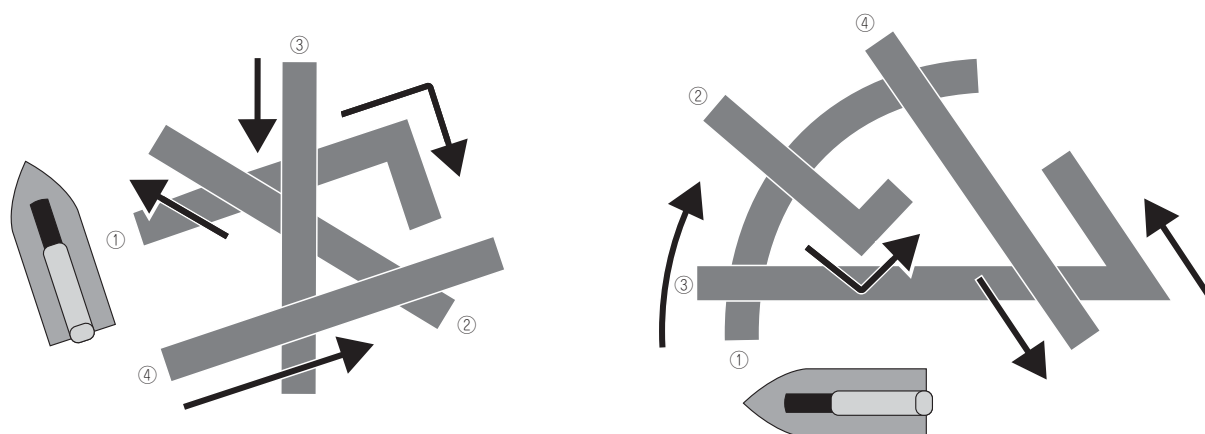
■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～5%の範囲で加え、寒水石2厘を5kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●2色のインディアートCERAを定板の上で軽くまぜてこてを用いて、色相を加減しながら、塗装してください。

●何度もパターン付けをやり直すと2色が混じり合い色相がカラーミックスになりにくくなります。（一色になりやすい）

●こての大きさや形状によって、パターンは多少異なります。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ウェーブcolor mix仕上げ

使用骨材	
ー	
1缶あたり	ー　kg

（質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。）

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ウェーブ(color mix)	インディアートCERA	ー	1	1.5〜2.0	水道水	0〜5	角ごて

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0〜5%の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●2色のインディアートCERAを定板の上で軽くまぜてこてを用いて、色相を加減しながら、塗装してください。

●角ごてを用いて、全体に均一にむらなく塗付し、使用量は1.5〜2.0kg/m^{2}としてください。

■模様付け

●主材塗付後追いかけで、角ごてを用いて、軽く半円を描くようなこてすじを付けるように、パターン付けを行ってください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。

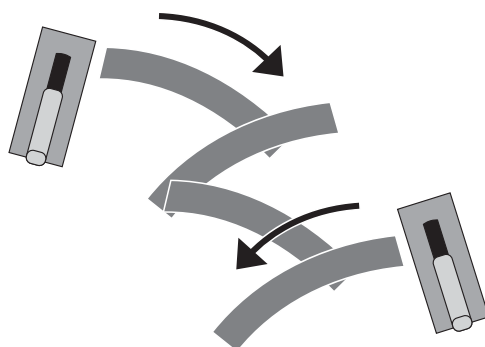
●こての大きさや形状によって、パターンは多少異なります。

●何度もパターンの手直しをすると塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●何度もパターン付けをやり直すと2色が混じり合い色相がカラーミックスになりにくくなります。（一色になりやすい）

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ラフグリッド color mix仕上げ

使用骨材	
	ー
1缶あたり	ー kg

（質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。）

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合（重量比）	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ラフグリッド（color mix）	インディアートCERA	ー	1	1.5～2.0	水道水	0～5	角ごてor先付け仕上げごて

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～5%の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●2色のインディアートCERAを定板の上で軽くまぜてこてを用いて、色相を加減しながら、塗装してください。

●角ごてを用いて、全体に均一にむらなく塗付し、使用量は1.5～2.0kg/m^{2}としてください。

■こて処理

●主材塗付後追いかけで、角ごてまたは先付け仕上げごてを用いて、均一に押し付けるように、パターン付けを行ってください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。

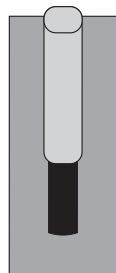
●こての大きさや形状によって、パターンは多少異なります。

●何度もパターンの手直しをすると塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●何度もパターン付けをやり直すと2色が混じり合い色相がカラーミックスになりにくくなります。（一色になりやすい）

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

角ごての頭の部分を使って、塗面を上から下へ軽く押さえるようにすると、比較的きれいに仕上がります。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ラウンドラフ　color mix仕上げ

使用骨材	
寒水石1厘	
1缶あたり	約　5　kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ラウンドラフ(color mix)	インディアートCERA	100	1	1.5〜2.0	水道水	0〜5	丸ごてor先付け仕上げごて
	寒水石1厘	30					

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0〜5%の範囲で加え、寒水石1厘を約5kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●２色のインディアートCERAを定板の上で軽くまぜてこてを用いて、色相を加減しながら、塗装してください。

●先付け仕上げごて又は丸ごてを用いて、全体に均一にむらなく塗付し、使用量は1.5〜2.0kg/m^{2}としてください。

■こて処理

●主材塗付後追いかけで、先付け仕上げごてを用いて、パターン付けを行ってください。

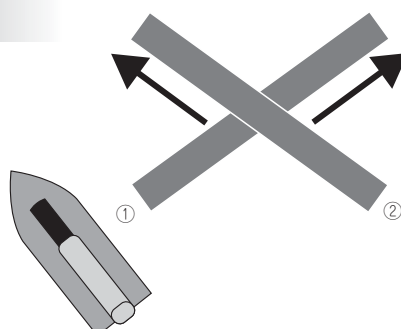
●こての大きさや形状によって、パターンは多少異なります。

●何度もパターンの手直しをすると塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●何度もパターン付けをやり直すと2色が混じり合い色相がカラーミックスになりにくくなります。(一色になりやすい)

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

ブラシカーブ仕上げ

使用骨材	
ー	
1缶あたり	ー kg

（質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。）

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合（重量比）	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ブラシカーブ	インディアートCERA	ー	1	1.5～2.0	水道水	0～3	砂骨ローラーor丸ごて＋左官ホーキ

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

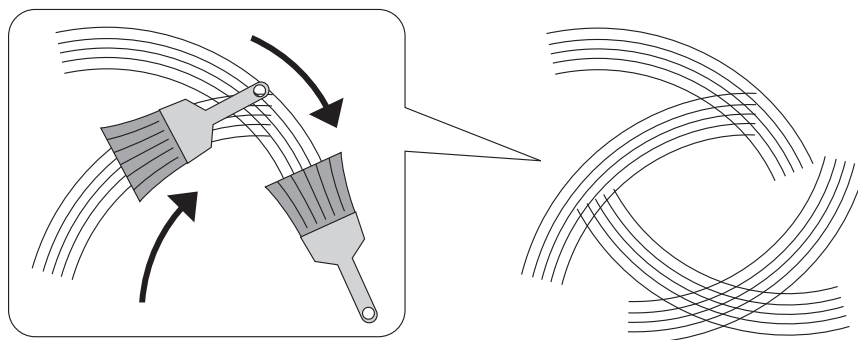
●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～3％の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、丸ごてまたは砂骨ローラーを用い、均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は1.5～2.0kg/m^{2}としてください。なお、丸ごてで塗装の場合は、均一に配り塗りしてください。

■パターン付け

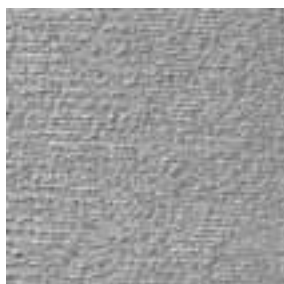
●主材塗付後追いかけで、水道水を含ませた左官ホーキを用いて、一定方向に表面を掃くようにしてパターン付けを行ってください。その際、左官ホーキは、あまり強く押さえ付けないようにしてください。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●何度もパターンの手直しをすると塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●左官ホーキの大きさや形状によってパターンが多少異なります。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

くし目ローラープレス仕上げ

使用骨材	
寒水石3厘	
1缶あたり	16 kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
くし目ローラープレス	インディアートCERA	100	1	3.5～4.0	水道水	3～6	スタッコガン クシ目ローラー
	寒水石3厘	100					

注）塗り継ぎは、必ず装飾養生部分で行ってください。又、大壁への施工はできるだけ避け、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けるようにしてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■装飾養生

●コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、それぞれ2m×2m以内に装飾養生を行ってください。

●現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部·装飾養生部の位置などを決定してください。

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を3～6%の範囲で加え、寒水石3厘を16kg混合して十分に攪拌してください。

●塗装は、スタッコガン口径8～12mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm^2）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、使用量は3.5～4.0kg/m^{2}としてください。

■パターン付け

●主材塗付後直ち（10分程度内）に、くし目ローラーを用いて、一定方向に押さえるようにローラーを移動させながらパターン付けを行ってください。その際、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

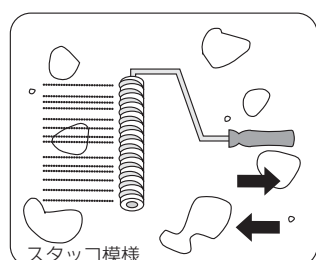
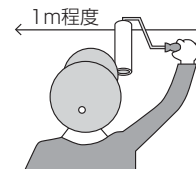
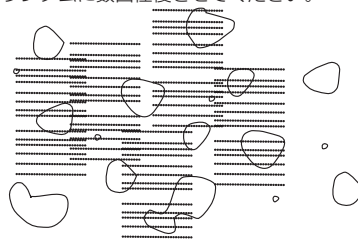
●パターン付けの時は、長い距離を一気に転がさず、手の届く範囲（1m程度）で作業してください。

■養生取り

●パターン付け後直ちに、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

ウールライン仕上げ

使用骨材	
ー	
1缶あたり	ー kg

（質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。）

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ウールライン	インディアートCERA	ー	1	1.5〜2.0	水道水	3〜5	ウールローラー

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも２m×２m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■装飾養生

●コーナー部･開口部などのローラーが入りにくい部位､及び大壁面に対しては､それぞれ2m×2m以内に装飾養生を行ってください。

●現場での装飾養生の場合は､元請けと協議の上､化粧目地部･装飾養生部の位置などを決定してください。

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を３〜5%の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●ウールローラーを用いて全体に均一に配り塗りしてください。使用量は1.5〜2.0kg/m^{2}としてください。

■パターン付け

●主材塗付後直ち（10分程度内）に、あらかじめ主材を十分含ませたウールローラーを用いて、一定方向にローラーを移動させながらパターン付けを行ってください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。

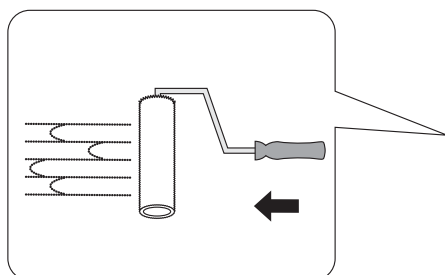
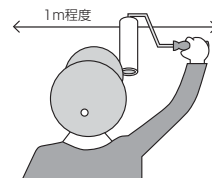
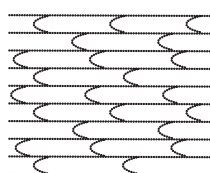
●パターン付けの時は、長い距離を一気に転がさず、手の届く範囲（1m程度）で作業してください。

■養生取り

●パターン付け後直ちに、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ローラーライン仕上げ

（質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。）

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合（重量比）	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ローラーライン	インディアートCERA	ー	1	1.5～2.0	水道水	0～3	砂骨ローラー ラインローラー

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■装飾養生

●コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、それぞれ2m×2m以内に装飾養生を行ってください。

●現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●主材を砂骨ローラーを用いて全体に均一に配り塗りしてください。使用量は1.5～2.0kg/m^{2}としてください。

■パターン付け

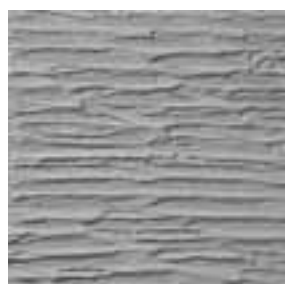
●主材塗付後直ち（5分程度内）に、あらかじめ主材を十分含ませたラインローラーを用いて、一定方向にローラーを移動させながらパターン付けを行ってください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。

●パターン付けの時は、長い距離を一気に転がさず、手の届く範囲（1m程度）で作業してください。

■養生取り

●パターン付け後直ちに、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ローラーレリーフ仕上げ

使 用 骨 材	
寒水石1厘	
1缶あたり	3 kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ローラーレリーフ	インディアートCERA	100	1	2.0～3.0	水道水	0～3	砂骨ローラー レリーフローラー
	寒水石1厘	20					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■装飾養生

●コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、それぞれ2m×2m以内に装飾養生を行ってください。

●現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～3%の範囲で加え、寒水石1厘3kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●砂骨ローラーまたは砂骨ローラー（細目）を用いて全体に均一に配り塗りしてください。使用量は2.0～3.0kg/m^2としてください。

■パターン付け

●主材塗付後直ち（5分程度内）に、あらかじめ主材を十分含ませたレリーフローラーを用いて、一定方向にローラーを移動させながらパターン付けを行ってください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。

●パターン付けの時は、長い距離を一気に転がさず、手の届く範囲（1m程度）で作業してください。

●パターン付けは、一度で仕上がるようにしてください。塗り直しが必要な場合は、主材塗りをした状態まで戻してから行ってください。

●装飾養生のテープは、パターン付け後直ちに除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切れ目を入れてからテープを除去してください。

■養生取り

●パターン付け後直ちに、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ブラシライン仕上げ

使用骨材	
寒水石2厘	
1缶あたり	約 3 kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合（重量比）	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ブラシライン	インディアートCERA	100	1	1.5～2.0	水道水	0～3	砂骨ローラー＋左官ホーキ（又はダスター刷毛）
	寒水石2厘	20					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

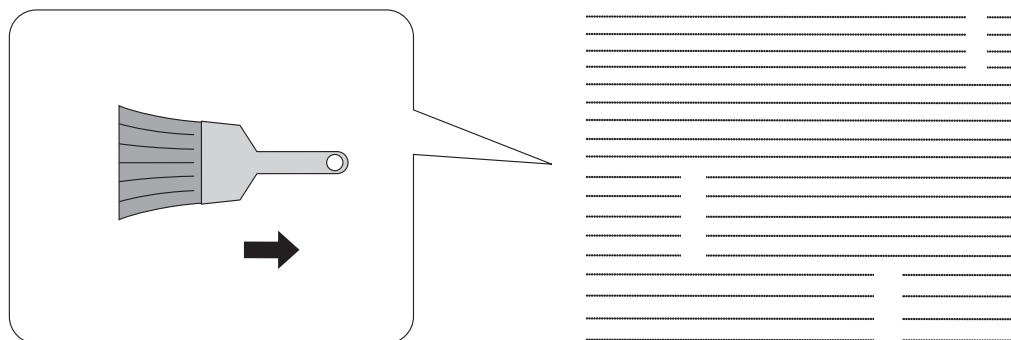
■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～3%の範囲で加え、寒水石2厘を約3kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、砂骨ローラーを用い、均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は1.5～2.0kg/m^{2}としてください。

■パターン付け

●主材塗付後直ちに、水道水を含ませた左官ホーキ又はダスター刷毛を用いて、一定方向に表面を掃くようにしてパターン付けを行ってください。その際、左官ホーキは、あまり強く押さえ付けないようにしてください。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●左官ホーキの大きさや形状によってパターンが多少異なります。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

スポンジライン仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
スポンジライン	インディアートCERA	100	1	1.5～2.0	水道水	0～3	砂骨ローラー(細目) または こて+スポンジ
	寒水石1厘	30					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

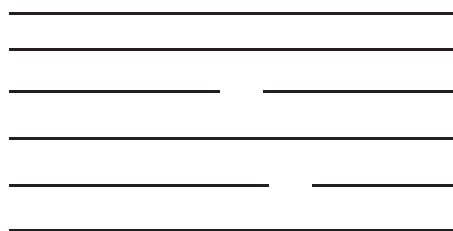
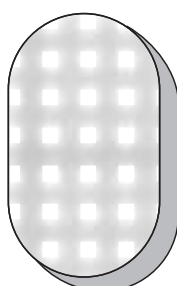
■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～3%の範囲で加え、寒水石１厘を約5kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、砂骨ローラー（細目）を用い、均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は1.5～2.0kg/m^2としてください。なお、角ごてでの塗付も可能です。この場合は、均一に配り塗りしてください。

■パターン付け

●主材塗付後直ちに、水道水を含ませたスポンジを用いて、一定方向に表面を掃くようにしてパターン付けを行ってください。その際、スポンジは、あまり強く押さえ付けないようにしてください。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●スポンジの大きさや形状によってパターンが多少異なります。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

→

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

チップライン仕上げ

使用骨材	
寒水石1厘	
1缶あたり	約 5 kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
チップライン	インディアートCERA	100	1	1.5～2.0	水道水	0～3	先付け仕上げごて
	寒水石1厘	30					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～3％の範囲で加え、寒水石1厘を約5kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、先付け仕上げごてを用い、均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は1.5～2.0kg/m^{2}としてください。

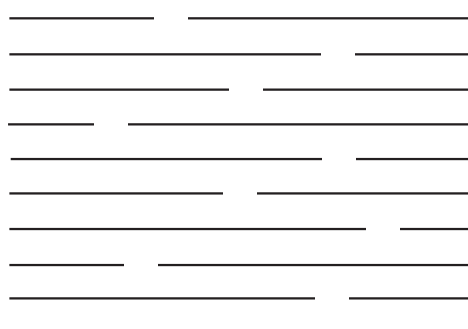
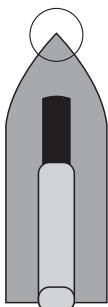
■パターン付け

●主材塗付後直ちに、先付け仕上げごての先を用いて、一定方向に表面を掃くようにしてパターン付けを行ってください。その際、先付け仕上げごては、あまり強く押さえ付けないようにしてください。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。

●何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

コームライン仕上げ

使用骨材	
ー	
1缶あたり	ー kg

(質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。)

① 下地調整5頁を御参照ください

② 模様標準施工仕様

	工程名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/m²/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
Ⅰ	下塗り	ウルトラシーラーⅢ	ー	1	0.10〜0.16	水道水	透明 ー / ホワイト 10〜30	エアレススプレー·はけ ウールローラー
Ⅱ	基層塗り	インディアートCERA	ー	1	0.6〜1.0	水道水	12〜15	砂骨ローラー(細目)
Ⅲ	コームライン	インディアートCERA	ー	1	1.5〜2.0	水道水	0〜3	角ごてor砂骨ローラー(細目)+クシベラ(細目)

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を０〜３%の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗装を行いながら条件を決めてください。

●塗装は、角ごてまたは砂骨ローラー（細目）を用い、均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は1.5〜2.0kg/m²としてください。

■パターン付け

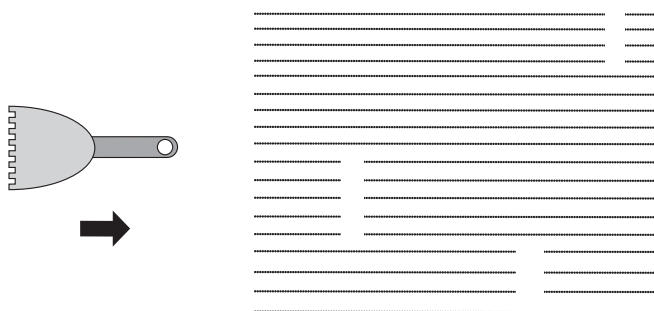
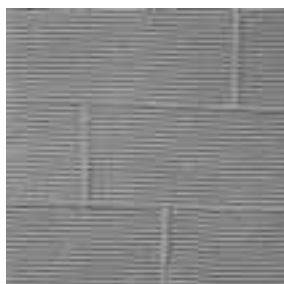
●主材塗付後直ちに、クシベラ（細目）を用いて、塗面一定方向に軽くならすようにしてパターン付けを行ってください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●パターン付けの時は、長い距離を一気に引かず手の届く範囲（50〜100cm程度）で作業してください。

●何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

ラージコームライン仕上げ

使用骨材	
寒水石2厘	
1缶あたり	11 kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ラージコームライン	インディアートCERA	100	1	3.0〜4.0	水道水	3〜6	角ごて＋クシベラ(太目)or クシ目ごて
	寒水石2厘	70					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を3〜6％の範囲で加え、寒水石2厘を11kg混合して十分に攪拌してください。

●塗装は、角ごてを用い、均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は3.0〜4.0kg/m^{2}としてください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

■パターン付け

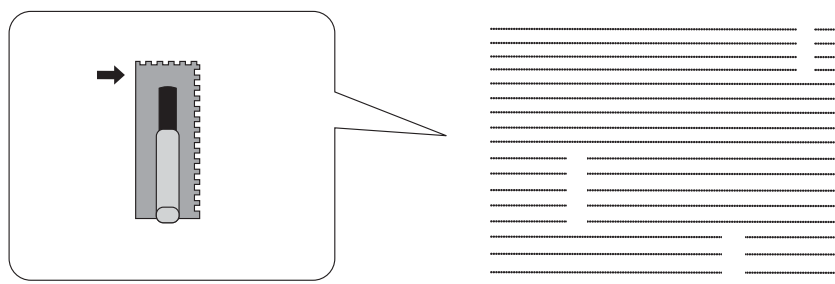
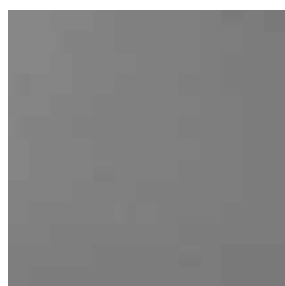
●主材塗付後直ちに、クシベラ（太目）又は、クシ目ごてを用いて、塗面一定方向に軽くならすようにしてパターン付けを行ってください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。また、形成するパターン（ライン）を決まった間隔に揃えるとパターンむらが発生しやすくなりますので、ランダムな間隔で施工してください。

●パターン付けの時は、長い距離を一気に引かず手の届く範囲（50〜100cm程度）で作業してください。

●何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

ジュラク風仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ジュラク風	インディアートCERA	100	1	1.0〜1.2	水道水	15〜20	ジュラクガン
	寒水石1厘	50					

注）平滑仕上げの為大壁面（3m×3m）への施工は塗装むらを生じやすいので、原則的に避けてください。塗り継ぎは目地部で行ってください。

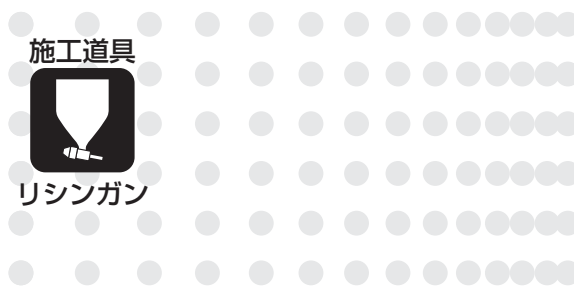
■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を15〜20%の範囲で加え、寒水石１厘を８kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、ジュラクガン口径３〜４mmを用い、吹付圧392〜588kPa（４〜６kgf/cm^2）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、使用量は1.0〜1.2kg/m^{2}としてください。

●塗装の際、クレーター模様ができないようにジュラクガンを調整し、事前にパターン確認を行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

砂壁状仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
砂壁状	インディアートCERA	100	1	1.5〜2.0	水道水	10〜20	リシンガン
	寒水石3厘	50					
	寒水石5厘	50					

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を10〜20%の範囲で加え、寒水石3厘を8kg・寒水石5厘を8kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、リシンガン口径４〜６mmを用い、吹付圧392〜588kPa（4〜6kgf/cm^2）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、使用量は1.5〜2.0kg/m^{2}としてください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

スタッコプレス仕上げ

施工道具

スタッコガン
万能ガン

角ごてor
丸ごて

使用骨材			
寒水石3厘 寒水石5厘			
1缶あたり	各	8	kg
	計	16	kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
スタッコプレス	インディアートCERA	100	1	3.0～4.0	水道水	3～6	万能ガンor スタッコガン ＋角ごてor丸ごて
	寒水石3厘	50					
	寒水石5厘	50					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも２m×２m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■装飾養生

●コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、及び大壁面に対しては、それぞれ２m×２m以内に装飾養生を行ってください。

●現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を３～６%の範囲で加え、寒水石３厘を8kg・寒水石５厘を8kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、スタッコガン口径8～12mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm^2）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、使用量は3.0～4.0kg/m^{2}としてください。

■パターン付け

●主材塗付け後直ち（５分程度内）に、水道水を付けた角ごて又は丸ごてを用いて、全体を軽く押さえるようにこてを移動させながらパターン付けを行ってください。その際、こては適宜水洗し、塗料が付着しないように注意してください。追いかけで施工するには、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。

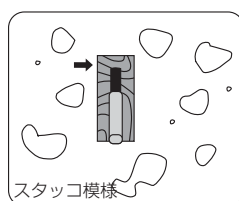
●適度な凹凸状態を保つよう、こては、あまり強く押さえ過ぎないように注意してください。

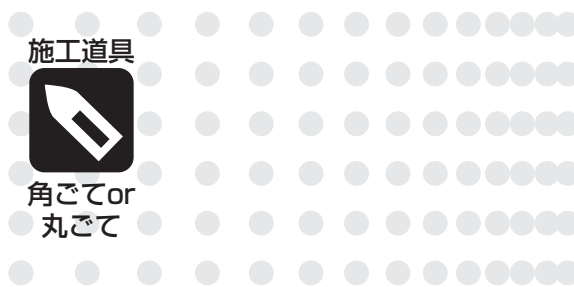
●何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

■養生取り

●パターン付け後直ち（５分程度内）に、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

フラット color mix仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
フラット(color mix)	インディアートCERA	100	1	1.5〜2.0	水道水	0〜3	角ごてor丸ごて
	寒水石1厘	30					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0〜3%の範囲で加え、寒水石1厘を約5kg混合して十分に撹拌してください。

●テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●2色のインディアートCERAを定板の上で軽くまぜて、こてを用いて色相を加減しながら、塗装してください。

●塗装は、角ごて又は、丸ごてを用いて、下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は1.5〜2.0kg/m^{2}としてください。

●こての大きさや形状によってパターンは多少異なります。

●何度もパターンの手直しをすると塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●何度もやり直すと2色が混じり合い色相がカラーミックスになりにくくなります。（一色になりやすい）

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

フラット仕上げ（内装薄付仕上げ）

防火材料認定

① 下地調整5頁を御参照ください （下地調整5頁を御参照ください）

② 模様標準施工仕様

	工程名	塗料名	調合（重量比）	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
Ⅰ	下塗り	ウルトラシーラーⅢ	−	1	0.10〜0.16	水道水	透明 − ホワイト 10〜30	エアレススプレー･はけ ウールローラー
Ⅱ	フラット（内装薄付仕上げ）	インディアートCERA	100	2	0.4〜0.5	水道水	10〜15	ジュラクガン
		寒水石１厘	100					

■模様塗りにあたってのご注意

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を10〜15%の範囲で加え、寒水石１厘を16kg混合して十分に撹拌してください。

●テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、ジュラクガンを用いて、下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は0.4〜0.5kg/m^2/回として2回塗りにしてください。

●何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●上記仕様は、7頁記載の基層塗りは必要ありません。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

フラット仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
フラット	インディアートCERA	100	1	1.5〜2.0	水道水	0〜3	角ごてor丸ごて
	寒水石1厘	30					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0〜3%の範囲で加え、寒水石１厘を約5kg混合して十分に撹拌してください。

●テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、角ごて又は、丸ごてを用いて、下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は1.5〜2.0kg/m²としてください。

●何度もパターンの手直しをすると塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

ラギットフラット仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
ラギット フラット	インディアートCERA	100	1	2.0～3.0	水道水	0～5	角ごてor丸ごて
	寒水石3厘	50					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～5%の範囲で加え、寒水石3厘を8kg混合して十分に撹拌してください。

●テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、角ごて又は、丸ごてを用いて、下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は2.0～3.0kg/m^2としてください。

●何度もパターンの手直しをすると塗面が乾燥し、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

サンドストーム仕上げ

施工道具

丸ごて
木ごて

万能ガン

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/m²/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
サンドストーム	インディアートCERA	100	1	3.0〜4.0	水道水	3〜6	万能ガン＋丸ごて＋木ごて
	寒水石2厘	50					
	寒水石5厘	30					

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を３〜６％の範囲で加え、寒水石２厘を８kg・寒水石５厘を５kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●丸ごて又は角ごてを用いて、全体に均一にむらなく塗付し、使用量は3.0〜4.0kg/m²としてください。

■こて処理

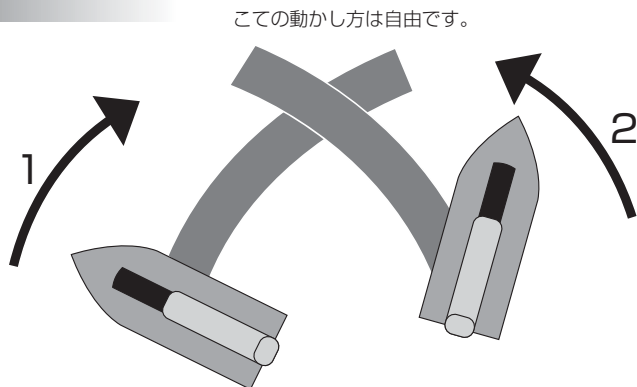
●主材塗付後直ちに、あらかじめ水にひたしておいた木ごてを用いて、ランダムなこてすじ模様を付けるように、パターン付けを行ってください。又、凹凸が大きい場合、あらかじめ水にひたしたプラスチックごてを用いて凸部を押さえて平滑にならしてください。または金ごてで平滑にならしてください。

●何度もパターンの手直しをすると、塗面が乾燥し、仕上りが悪くなるため、速やかにパターン付けを行ってください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

■パターン出し

こての動かし方は自由です。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

吹付タイル仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
吹付タイル	インディアートCERA	100	1	0.8〜1.2	水道水	2〜5	タイルガン
	寒水石1厘	20					

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を2〜5%の範囲で加え、寒水石１厘を3kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、タイルガン口径6.5〜8mmを用い、吹付圧392〜588kPa（4〜6kgf/cm^2）としてください。なお、圧力調整はタイルガンのコックにより調整してください。主材は均一にむらなく塗付し、使用量は0.8〜1.2kg/m^{2}としてください。

●最終養生時間（吹放し）は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

吹付タイルヘッド押さえ仕上げ

使用骨材	
寒水石1厘	
1缶あたり	3 kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
吹付タイルヘッド押さえ	インディアートCERA	100	1	0.8〜1.2	水道水	2〜5	タイルガン ヘッド押さえローラー
	寒水石1厘	20					

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を2〜5%の範囲で加え、寒水石1厘を3kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、タイルガン口径6.5〜8mmを用い、吹付圧392〜588kPa（4〜6kgf/cm^2）としてください。なお、圧力調整はタイルガンのコックにより調整してください。主材は均一にむらなく塗付し、使用量は0.8〜1.2kg/m^{2}としてください。

■凸部処理

●主材塗付後10分〜30分程度内に、塗料用シンナーAを付けたヘッド押さえローラーを用い、凸部を押さえてください。なお、灯油など、他の材料は絶対に使用しないでください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

模様ローラーヘッド押さえ仕上げ

（質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。）

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
模様ローラーヘッド押さえ	インディアートCERA	ー	1	1.5〜2.0	水道水	0〜3	砂骨ローラー+ランダム模様ローラー+ヘッド押さえローラー

注）面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。又、大壁への施工は、できるだけ避けていただき、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けてください。

■模様塗りにあたってのご注意

■装飾養生

●コーナー部・開口部などのローラーが入りにくい部位、および大壁面に対しては、それぞれ2m×2m以内に装飾養生を行ってください。

●現場での装飾養生の場合は、元請けと協議の上、化粧目地部・装飾養生部の位置などを決定してください。

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0〜3%の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●主材を砂骨ローラーを用いて全体に均一に配り塗りしてください。使用量は1.5〜2.0kg/m^{2}としてください。

■パターン付け

●主材塗付後直ちに（5分程度内）、あらかじめ主材を十分含ませたランダム模様ローラーを用いて一定方向にローラーを移動させながらパターン付けを行ってください。追いかけ作業をする場合は、主材塗りとパターン塗りの施工者がペアになって行うと良いでしょう。

■凸部処理

●パターン付け後直ち（主材塗付後10分〜30分程度内）に、塗料用シンナーAを付けたヘッド押さえローラーを用いて、凸部を押さえてください。灯油など、他の材料は絶対に使用しないでください。

■養生取り

●パターン付け、または凸部処理後直ちに、装飾養生のテープを除去してください。すぐに除去することが困難な場合、最終養生後、カッターナイフなどで切り目を入れてからテープを除去してください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

吹付スタッコ仕上げ

使用骨材			
寒水石3厘 寒水石5厘			
1缶あたり	各	8	kg
	計	16	kg

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
吹付スタッコ	インディアートCERA	100	1	3.0～3.5	水道水	3～6	スタッコガンor 万能ガン
	寒水石3厘	50					
	寒水石5厘	50					

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を３～６%の範囲で加え、寒水石３厘を８kg・寒水石５厘を８kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、スタッコガン口径８～12mmを用い、吹付圧392～588kPa（４～６kgf/cm^2）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、使用量は3.0～3.5kg/m^{2}としてください。なお、小粒仕上げの場合は、タイルガン口径８～10mmを用い、使用量は1.5～2.0kg/m^{2}としてください。

●最終養生時間（吹放し）は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

吹付スタッコヘッド押さえ仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
吹付スタッコヘッド押さえ	インディアートCERA	100	1	3.0～3.5	水道水	3～6	スタッコガン ヘッド押さえローラー
	寒水石3厘	50					
	寒水石5厘	50					

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を3～6%の範囲で加え、寒水石3厘を8kg・寒水石5厘を8kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、スタッコガン口径8～12mmを用い、吹付圧392～588kPa（4～6kgf/cm^2）としてください。主材は均一にむらなく塗付し、使用量は3.0～3.5kg/m^{2}としてください。なお、小粒仕上げの場合は、タイルガン口径8～10mmを用い、使用量は1.5～2.0kg/m^{2}としてください。

■凸部処理

●主材塗付後10分～30分程度内に、塗料用シンナーAを付けたヘッド押さえローラーを用い、凸部を押さえてください。なお、灯油など、他の材料は絶対に使用しないでください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

なみがた模様仕上げ

（質感を変えるために寒水石1厘を適当量加えることもできます。）

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合（重量比）	塗り回数	使用量（kg/㎡/回）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
なみがた模様	インディアートCERA	ー	1	1.4～1.6	水道水	0～3	砂骨ローラー

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を０～３%の範囲で加え、十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、砂骨ローラーを用い、均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は1.4～1.6kg/m^{2}としてください。

●最後にローラーを下から上にころがし、目をととのえてください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

なみがた模様ヘッド押さえ仕上げ

① 下地調整5頁を御参照ください

② 下塗共通施工仕様7頁を御参照ください

③ 模様標準施工仕様

模様名	塗料名	調合(重量比)	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
なみがた模様ヘッド押さえ	インディアートCERA	100	1	1.4〜1.6	水道水	0〜3	砂骨ローラー ヘッド押さえローラー
	寒水石1厘	20					

■模様塗りにあたってのご注意

■主材塗り（模様塗り）

●インディアートCERA16kgに対し、水道水を0～3%の範囲で加え、寒水石１厘を約3kg混合して十分に攪拌してください。テスト塗りを行いながら条件を決めてください。

●塗装は、砂骨ローラーを用い、均一にむらなく下地が隠ぺいするように塗付し、使用量は1.4～1.6kg/m^2としてください。

●最後にローラーを下から上に軽くころがし、目をととのえてください。

■凸部処理

●主材塗付後５分～30分程度内に、塗料用シンナーAを付けたヘッド押さえローラーを用い、凸部を押さえてください。なお、灯油など、他の材料は絶対に使用しないでください。

●最終養生時間は、16時間以上としてください。

注】上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注】塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

施工上の注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください）

●気温が高く、西日や直接日光があたっている部位では、乾燥が非常に早くなりますので塗装を避けるか、シートなどで日陰を作って施工してください。＊または、主材塗り後表面に霧ふき（水）を行った後パターン付けを行ってください。
●下地の状態や形状、面積、塗装方法などによって、見本と色調およびパターンが多少異なる場合があります。
●ローラー、こて、くし引きなどで模様仕上げをする場合、面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。また、大壁への施工はできるだけ避け、最大でも2m×2m以内に装飾養生を設けるようにしてください。
●施工業者により仕上がりに若干差異が生じます。
●多彩塗料ですので、ロット差による多少の色相のズレは予めご了承ください。
●仕上がり模様は、事前に試し塗りを行い条件などを設定してから本施工に入ってください。
●面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行なってください。
●外部では酸性雨、ばい煙など酸化物質（Nox、Sox）により変色する場合があります。酸性環境が予想される場合はトップクリヤー（ジキトーン水性シリコンクリヤー3分つや有り）を塗装してください。
●塗装後24時間以内など乾燥不充分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
●外部の風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペー液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
●蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
●素地は含水率10%以下、pH9以下となるように調整してください。
●ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）
●外部では素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
●外部新設の抽出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペー液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
●塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
●塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
●飛散防止のため必ず養生を行ってください。
●シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
●笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
●塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
●濃彩色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
●大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
●汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。

安全衛生上の注意事項（インディアートCERA）

・本来の用途以外に使用しないでください。
・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
・粉じん／ガス／蒸気／スプレー等を吸入しないでください。
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
・取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
・粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
・よくフタをし、5℃～40℃の屋内で貯蔵してください。
・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光や水濡れは厳禁です。
・積み重ねは3段までとしてください。
・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にしないでください。
・内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　険	危険有害性情報
	飲み込むと有害のおそれ／発がんのおそれの疑い 生殖能力または胎児への悪影響のおそれ／臓器の障害（単回暴露） 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害